

保護者 様

上田市立丸子北中学校

校長 川口 伸哉

令和5年度 学校評価の報告（後期）

日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、12月から1月実施の後期学校評価アンケートでは、保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。

以下に、結果と考察を報告します。

今年度の反省や成果を振り返り、来年度の改善に努めたいと思います。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 アンケートの回答(生徒)(A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない)

番	評価内容	前 期				後 期				前 期		後 期		
		A	B	C	D	A	B	C	D	A+B	C+D	A+B	C+D	
1	授業にしっかり取り組み、学習内容を理解できている。	29%	61%	8%	2%	35%	56%	8%	1%	90%	10%	91%	9%	3-(2)
2	教科の家庭学習や課題を、期日を守って提出し、学習内容の理解ができている。	36%	44%	17%	3%	32%	47%	18%	3%	80%	20%	79%	21%	3-(2)
3	自分に任された学級や生徒会の活動を責任をもって行っている。	58%	39%	3%	0%	70%	26%	1%	3%	97%	3%	96%	4%	
4	自宅では、日頃から学習や睡眠など規則正しい生活で過ごしている。	29%	47%	21%	3%	29%	50%	18%	2%	76%	24%	80%	20%	3-(2)
5	合唱では、しっかり歌声を響かせている。	56%	37%	5%	2%	56%	35%	7%	2%	93%	7%	91%	9%	
6	部活動(や、自身の校外での活動)に熱心に取り組んでいる。	67%	24%	4%	5%	62%	32%	2%	4%	91%	9%	94%	6%	
7	学校や地域で、はっきりした声で挨拶することができている。	42%	46%	10%	2%	52%	41%	6%	1%	88%	12%	93%	7%	
8	自分の将来(進学や就職など)について、考えをもっている。	30%	38%	26%	6%	32%	43%	21%	4%	68%	32%	75%	25%	3-(3)
9	心配事や悩みがあるとき、相談できる人や場所がある。	49%	41%	6%	4%	48%	40%	9%	3%	90%	10%	88%	12%	3-(4)
10	つらい気持ちの仲間がいるとき、気づかう気持ちをもっている。	47%	48%	5%	0%	52%	40%	6%	2%	95%	5%	92%	8%	
11	相手の良さを認め、仲間と温かい気持ちや言動で関わるができる。	51%	44%	4%	1%	55%	41%	3%	1%	95%	5%	96%	4%	
12	毎日の清掃に無言で積極的に取り組むことができる。	53%	40%	5%	2%	56%	40%	3%	1%	93%	7%	96%	4%	
13	地区の清掃や奉仕活動に進んで取り組める。	21%	41%	23%	15%	26%	40%	24%	10%	62%	38%	66%	34%	
14	学校に明るい気持ちで登校できている。	45%	39%	11%	5%	43%	44%	8%	5%	84%	16%	87%	13%	
15	学校生活は楽しく充実している。	50%	40%	6%	4%	51%	39%	7%	3%	90%	10%	90%	10%	

2 アンケートの回答(保護者)(A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない E:わからない)

番	評価内容	前 期					後 期					前 期		後 期		
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A+B	C+D	A+B	C+D	
1	我が子の学校生活や授業中の状況をしっかり捉えている。	7%	58%	27%	4%	5%	6%	61%	24%	4%	5%	65%	31%	67%	29%	3-(2)
2	我が子の家庭学習の取り組み状況をわかっている。	10%	60%	22%	3%	4%	8%	58%	21%	6%	6%	70%	25%	66%	27%	3-(2)
3	我が子は、学習や睡眠など規則正しく過ごしている。	9%	37%	39%	15%	1%	9%	38%	38%	14%	1%	46%	54%	47%	52%	3-(2)
4	我が子は、部活動(や、自身の校外での活動)に熱心に取り組んでいる。	46%	36%	12%	4%	1%	38%	47%	6%	8%	1%	82%	16%	85%	14%	
5	我が子は、明るい表情で学校に登校している。	29%	46%	20%	5%	0%	28%	54%	14%	4%	0%	75%	25%	82%	18%	
6	我が子は、地区清掃や地域の奉仕活動に進んで取り組んでいる。	7%	35%	34%	10%	13%	4%	43%	31%	13%	8%	42%	44%	47%	45%	
7	我が子と学校生活の様子についてよく会話する。	22%	47%	26%	4%	1%	21%	54%	20%	5%	0%	69%	30%	75%	25%	
8	丸子北中の生徒は、学校や地域でしっかりと挨拶している。	13%	57%	18%	4%	8%	10%	55%	23%	3%	9%	70%	22%	65%	26%	
9	丸子北中の授業は、生徒の取り組みやすい工夫がされていると思う。	4%	55%	15%	3%	24%	6%	55%	16%	2%	21%	59%	18%	62%	18%	3-(2)
10	丸子北中の日課や教育活動は生徒にとって無理のないものになっている。	4%	72%	9%	2%	14%	9%	73%	8%	2%	8%	76%	11%	82%	9%	
11	丸子北中では将来の目標がもてるような進路学習や相談が行われている。	2%	51%	18%	5%	24%	8%	57%	16%	2%	17%	53%	23%	65%	18%	3-(3)
12	丸子北中は、参観日・懇談や学年通信などで学校の様子がよく伝わっている。	15%	70%	9%	2%	4%	13%	71%	9%	1%	7%	85%	11%	84%	9%	
13	丸子北中では生徒に寄り添った指導で、いじめの防止や早期発見に努めていると思う。	8%	46%	17%	4%	25%	12%	48%	14%	4%	21%	54%	21%	60%	19%	3-(4)
14	丸子北中のPTA活動は参加しやすく、有意義なものになっている。	1%	50%	20%	4%	25%	4%	48%	20%	7%	21%	51%	24%	52%	27%	

3 アンケート結果の考察等

【色分けの見方】

A+B(またはC+D)の合計が、後期に減少した項目

A+Bの合計が前期後期にわたって低く、課題ととらえる項目

注視すべき内容の数値

(1)全体にかかわって

保護者アンケートについて、前期192名、後期182名の回答をいただきました。紙面による通知に加え、メールでもご案内を送付し、回答をお願いしました。多くの保護者の皆様の意見を反映すべく、回答数を伸ばしていきたいと考えます。
後期に、A+B(肯定的回答)の数値が上回った項目は、生徒の回答全15項目中9項目、保護者の回答全14項目中11項目でした。数値が上回った項目が多くなった要因には、2学期に生徒たちの活躍する行事、学習の成果の発表の場が多かったことが考えられます。

(2)授業と家庭学習について(生徒の回答1、2、4 保護者の回答9、1~3)

生徒の回答について、前後期を通して肯定的な回答の数値が高いことから、授業に取り組む姿勢、学習内容を理解しようとする姿勢がとても前向きであるということがわかります。保護者の肯定的回答数も、わずかですが向上しました。教師のさらなる授業改善を継続し、生徒の「わかりたい」「学びたい」の気持ちを、次年度も大切にまいります。
生徒の回答の、家庭学習と規則正しい生活については、比較的低い数値となっています。基礎学力の定着に家庭学習は欠かせません。進学、進級のこの時期をとらえて、学級や教科で引き続き指導してまいります。保護者の「規則正しい生活」の否定的回答(C+D)が52%と半数を超えています。学校や部活動後の家庭学習を含めた家庭での過ごし方について、家庭や学校で話題にし、生徒とともに考えていく必要があると考えます。

(3)進路学習、キャリア教育について(生徒の回答8—保護者の回答11)(生徒の回答3、6、12)(生徒の回答7—保護者の回答8)

進路学習、キャリア教育の項目については、後期、肯定的回答が生徒5ポイント、保護者12ポイント数値が向上しました。昨年度からの課題でもあったため、大変うれしく思います。しかし、他の項目との比較でみると、まだ充分な数値とは言えず、更なる向上を図っていきたいと考えます。
一方、生徒の複数の回答の数値の高さから、本校のよさも見えてきています。項目3(任された活動に責任をもって取り組む)、項目6(部活動や校外活動)、項目12(清掃活動)です。
キャリア教育の目標は、進学及び学力向上にとどまらず、自分の個性や興味・関心と照らして自己実現を図ろうとすることにあります。この目標に焦点をあてていくことは、改めて今ある生徒のよさを生かしていくことにつながっていきます。
「あいさつ」については、生徒と保護者の認識にずれが生じています。あいさつは社会教育であり、キャリア教育にもつながります。生徒、保護者、教師と一緒に、学校や地域でのあいさつを盛り上げていくよう取り組んでまいります。

(4)生徒支援について(生徒の回答9—保護者の回答13)

保護者の肯定的回答は60%で、保護者の数値は上がりましたが、生徒はわずかに下がりました。今後の学校生活で、友人関係の悩みや心配事が、成長の糧となるよう、支援したり見守ったりしていくことを大切にしていきたいと考えます。
この設問は、肯定的回答よりも否定的回答を大切に考え、生徒たちが困ったとき、悩みを抱えたときに相談できる環境を整えていきます。同時に、保護者の皆様と、職員間で情報の共有に努めてまいります。
これまで保護者の皆様には、学校との連携につきましてご協力いただいたことに感謝申し上げます、引き続きのご協力をお願いいたします。

(5)その他

地区清掃や地域の奉仕活動の数値は、昨年度に比べて若干の向上がみられます。清掃や奉仕活動にとどまらず、地域に開かれた教育活動について、次年度、学校開放や総合的な学習の時間などで、改善を図っていききたいと考えております。
PTA活動について、保護者の負担感が大きいことが数値に表れていて注視が必要だと考えていますが、PTAの皆様のお力添えにより、今年度8月には、3年越しの親子作業が実施でき、学校が本当に美しく整備されました。また、70周年記念事業では、秋桜祭にあわせて、記念集会講演会が実施できたことに生徒ともども感動いたしました。PTAの大きな力に改めて感謝を申し上げます。
PTA活動の負担減の方向と、アフターコロナを鑑み、活動の制限を解除していくことの両方を見極めながら、生徒にとって必要な活動や支援を継続していくことについて、次年度、保護者の皆様とともに考えていきたいと思っております。

・自由記述欄につきましては、職員ですべてを共有させていただいております。いただいたご意見など改善に向か

うよう努めてまいります。個別の回答が必要な方はお申し出ください。

心あたたまる励まし等も頂戴いたしました。ありがとうございます。